

令和3年度の目標に関する輸送の安全計画

- ※ あらゆる事故を未然に防止する為、速度に応じた車間距離の保持を徹底する（モービルアイ・追突防止機能を有効に活用し車間距離の意識向上を目指す）
また、新型車両に搭載される衝突被害軽減ブレーキを作動させない運転を心掛け意識する。（発動が不意な為、被害が出る可能性がある為）
速度を控えめに走行車線の走行に努め、キープレフトの励行
- ※ ルートや・施設等の最新情報を共有する事で（施設進入方法・最短ルートや幅広いルート選択が出来る等）心にゆとりを持った運行が可能になり、必要な情報を確実に伝達する事で事故を未然に防ぎ、安全確保を最優先とした運行をする。
- ※ 飲酒運転撲滅・・・アルコールチェックの徹底・マニュアルの活用や日頃より飲酒運転防止の啓発活動を心掛ける。
- ※ 自社事故事例だけでなく、他社と事故事例ヒヤリ・ハットデータ共有を呼び掛け、より多くの事故事例を学ぶ事で、安全運転教育に反映させる。
（映像学習を基にヒヤリハットの情報を共有し事故意識を高める為、グループ学習をより多く取り入れ、全社員の意識向上を目指す）
- ※ 労務管理・健康管理の徹底・・・運行の管理・把握を徹底し、計画的な労務管理に取組み、MRI等を受診させる事で、健康管理面での積極的な指導
健康に関しては本人の意識改革がもっとも大切な為、毎日の血圧測定（車庫に常備）や体調の変化等を管理者に伝える様指導
（疲労や健康状態等に起因する事故を起こさぬ様、自身の健康状態等を伝えやすい（言いやすい）環境を作る事が理想である為、周囲の環境を整備する）
- ※ 自身の健康に対する意識を向上させ、予防に努める様指導（ワカガシ等の予防接種や、空いた時間を使用しての運動・体操や喫煙などを積極的に指導）
- ※ 運行前後の点検を徹底し、運行中においても車両の状態をよく確認する事で、車両の細かな変化にも十分注意し、車輛故障による重大事故を未然に防ぐ。
（異音等の普段の状態と少しでも違和感を覚える場合や、異常（大小係わらず）を発見した場合は、速やかに管理者に報告し、運行中止等の判断を早めに仰ぐ）
- ※ 新型コロナウイルス感染症により長期間稼働の無い車両の車両保全強化を徹底し、点検・整備を数名のチーム制で行う事で、各自の役割分担を明確化し、確認漏れや作業手順のミスを失くし、故障などのトラブルの確率を下げる。
- ※ 車両後退時や右左折時の安全確認（出来る限り目視での確認）を徹底し、動作の前に一呼吸おく事で心にゆとりを持ち、安全に対する意識を高める。
（車両を使用しての実践指導時には、補助員・ガイドの活用や、動作前目視による確認等、基本的な事項を再度確認させる事で意識向上を目指す）
- ※ 車庫の出入庫時は、必ずその場にいる乗務員や管理職の誘導による先導を受ける事を徹底し、車庫内での物損事故を無くす
- ※ 実車両を使用しての教育訓練回数を増やし、自身における死角の範囲等を改めて再認識し安全確認に対する意識を高める。
（例えば、カラーコーンや段ボールなどの障害物を置いて、死角や確認範囲の見え方等を理解してもらい、実践に役立つ様指導）
- ※ 車両駐車位置のローブを蛍光色に変える・駐車位置の変更や、前照灯LEDライト取付け位置調整により夜間の死角低減を目指す等、周辺環境の整備を実行する。
- ※ 常に「・・・だろう」運転ではなく、「・・・にちがいない」という予測運転をし、急の付く動作を回避する事により、防衛運転に繋げる。
- ※ 新型コロナウイルス感染症対策に留意し、待機時の車内換気や消毒の徹底、出勤時の検温や平時でのマスク着用等、感染症対策の社内ルール徹底の厳格化